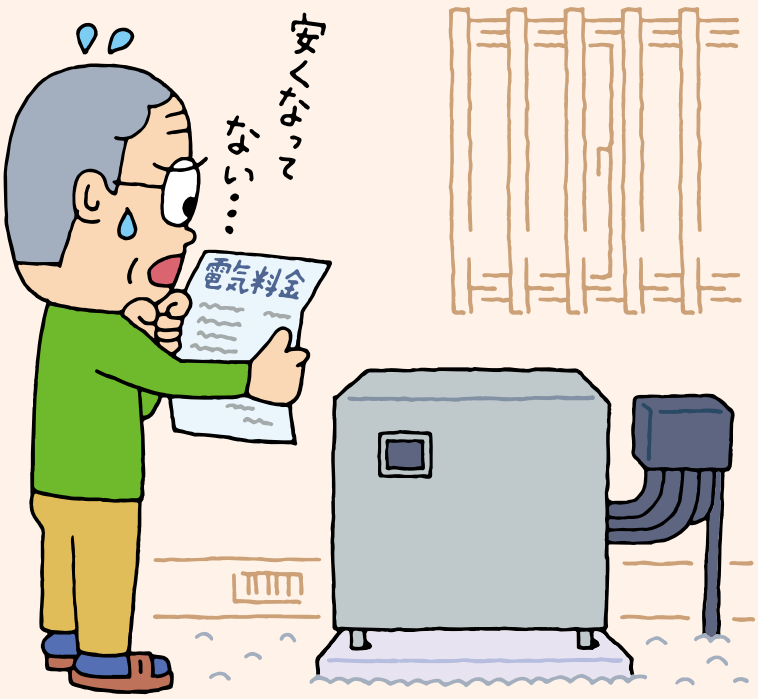
見守り新鮮情報

家庭用蓄電池 勧誘されても慎重に

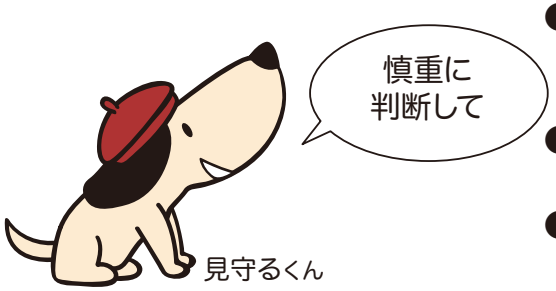
契約中の大手電力会社を名乗る女性から、電気のことで話があるので訪問したいと電話があった。その後、担当者が来訪し「**蓄電池**を設置して、電力会社の契約プランを変更すれば**電気料金**が**半額**になる」と勧誘され、工事費込みで110万円の契約をした。しかし、その後の**電気料金**を確認すると**少し安くなった**だけだ。説明と違うので解約したい。

（60歳代　男性）



©Kurosaki Gen

ひとこと助言



- 「電気料金が安くなる」などと事業者に勧誘されても、その場で契約しないようにしましょう。また、契約するつもりがない場合はきっぱりと断りましょう。
- 家庭用蓄電池の導入には初期費用が発生します。メリットだけではなく、設置後のメンテナンス費用等も確認して、総合的に判断することが大切です。
- 事業者の説明をうのみにせず、情報収集や、家族などに相談するなどして、慎重に判断しましょう。
- 困ったときは、すぐにお住まいの自治体の**消費生活センター**等にご相談ください（消費者ホットライン 188）。

本文イラスト：黒崎 玄

見守り新鮮情報　第404号（2021年10月5日）発行：独立行政法人国民生活センター